

# アズマイチゲ

*Anemone raddeana* Regel  
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は13箇所である。前回の調査結果からは県域絶滅危惧Ⅰ類とされたが、その後、新たな生育地が6箇所判明したため、要注目とした。

## 種の特徴

落葉広葉樹林の林縁や林床に生える多年草。地下茎は横にはい、やや芋状にふくらむ。根出葉と茎葉がある。花茎は高さ15～20cm。茎葉は3枚が輪生し、有柄、3出複葉で、小葉は鋸歯はあっても深く切れ込まない。3～5月頃、直径2～3cmの花を1個頂生する。

## 分 布

北海道～九州に分布する。県内では、勝山市、大野市、福井市、池田町で確認されている。

## 生育を脅かす要因

生育地である森林の伐採。植生遷移による生育環境の悪化。園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○						○	○	○

# リュウキンカ

*Caltha palustris* L. var. *nipponica* H.Hara  
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は13箇所である。県内の生育地は奥越地方と岐阜県境付近に限られており、生育基盤も脆弱なため、要注目とした。

## 種の特徴

浅い水中や湿地に生える多年草。根出葉は心円形～腎円形、基部は深くへこむ。5～7月頃、茎頂および茎葉の腋より1個ずつ花をつける。花は直径約2cm。花茎は花後も直立し、花柄は伸びて5～11cmになる。

## 分 布

本州、九州に分布する。県内では坂井市、勝山市、大野市、南越前町で確認されている。

## 生育を脅かす要因

生育地である湿地の開発。植生遷移で大型の植物が増加すること等による生育環境の悪化。園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○			○				○	○	

# コボタンヅル

*Clematis apiifolia* DC. var. *biterinata* Makino  
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は13か所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地は限られているため、要注目とした。

## 種の特徴

低地林の林縁に生育し、ほかの植物に絡んで生活するつる性の半低木。葉は2回3出複葉。小葉は卵形、先は鋭くとがり、不ぞろいな鋸歯がある。8～9月頃、葉腋より3出集散状に多数の花をつける。花は直径1.5～2cm。

## 分 布

本州（関東地方、中部地方）に分布する。県内では、勝山市、大野市、敦賀市、おおい町に分布する。

## 生育を脅かす要因

生育地である森林の伐採。植生遷移による生育環境の悪化。森林の林縁に生えるため、道路の拡幅などの影響を受けやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○				○									○	○	